

児童発達支援	公表	事業所における自己評価総括表
--------	----	----------------

○事業所名	こどもデイサービス じゃんけんばん			
○保護者評価実施期間	R6年11月20日～R6年12月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	2025年1月7日～2025年1月11日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	送迎時やモニタリング時に保護者とのコミュニケーションを増やして相談しやすい雰囲気を作っている。	活動の様子を連絡帳に記入し、保護者には口頭でも伝えている。また、子どもの様子を観察して職員と共有し、保護者に良い所や頑張っている所をしっかりと伝えている。	新しい活動やお出かけ先を増やして、子どもの興味や長所を見つけて職員間で情報共有し、保護者に伝えるようにする。また、保護者から子どもの様子について聞いたことを職員間で共有するようにする。
2	伝承遊び、運動遊び、感触遊び、お買い物学習等の様々な活動を行っていることやダンスや体操教室、音楽療法等では外部講師を招いた活動を行っている。また、夏祭りやクリスマス会等の季節に応じたイベントも実施して、子ども達が毎日楽しめるような活動内容にしている。	活動内容を職員間で話し合い、子ども達が興味を持つ内容になっているかや子ども達の特性に合わせて無理なく取り組める内容になっているかを検討している。また、夏祭りでは子ども達に準備から参加して意欲を高めることや苦手な数字をピングーム等で楽しく学ぶことが出来るようにしている。	公園やお出かけ先等を子ども達自身で決めていく機会を増やして、意思決定をすることが出来るようにする。また、子ども達の要望を聞いて、活動に取り入れるようにする。
3	保護者の要望や困りごと等に対して、工夫しながら出来る限り対応し、速やかに回答をしている。	出来ないと決めつけずに、どうしたら要望に応えることが出来るかを考え、職員間で話し合っている。今まで保護者様からの延長支援や送迎の順番の変更等の要望に対応している。	保護者様からの要望を聞き出すだけではなく、保護者様が困っていることは何かを考え、事業所内で共有して利用しやすい仕組みを整えるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアルや防犯マニュアルは作成されているが、保護者に周知されていないこと。また、年3回避難訓練を実施しているが、保護者に周知されていないこと。	各マニュアルを作成し、ホームページ上に公開していることや年3回避難訓練や感染症等の研修や訓練を実施しているが、じゃんけんばん通信やインスタグラム等ですべて発信することができていなかった。	契約時やモニタリング時等で保護者様に説明をすることやマニュアルの作成時や研修・訓練等を実施した場合にはじゃんけんばん通信やインスタグラムで発信をするようにする。また、インスタグラムを見ていただくように保護者様に伝えていくようにする。
2	放課後児童クラブや児童館との交流がないことや地域の他の子どもと活動する機会がないこと。	公園に行くことや地域のお祭りへの参加して地域との関わりが増えるようにしているが、放課後児童クラブや児童館等との交流は保護者様からの要望がないことや施設内容、大人数の場所や声、音を嫌がる子がいるので、それらを判断して交流をしていなかった。	児童館のホームページを見て施設内容等を検討する。また、地域と関わるイベント等の機会をホームページや情報誌等で調べて参加するようにする。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等をしていないこと。	職員が日本ペアレント・トレーニング協会が主催する研修やその他の事業所のオンライン研修に参加し、モニタリング時に家族の困りごとや子どもに対する支援をしているが、家族が参加できる研修会は保護者からの要望がないことや保護者が仕事をしていることもあり、研修会を開催していない。	モニタリング時等で家族の困りごとや子どもに対する支援方法を伝えるようにする。また、市町村の関係機関が主催する研修会等の情報を提供するようにする。家族等が参加できる研修会の開催について実現方法を検討するようにする。